



5/13(火)～18(日)ボートレース常滑

17年2月に始まったレディースオールスターは今年で節目の10回目を迎える。昨年から5月へと移行し、主力選手によっては次節にSGオールスターをひかえ、弾みをつけたい重要なシリーズとなった。初開催となる常滑で人気女子レーサー達の熱いバトルが始まる。

大会初制覇を狙う遠藤エミ



現在、もっとも輝いている女子レーサーと見ていいだろう。ただ、数々のタイトルを手にかけている遠藤も、この大会にはなかなか縁がない。昨年2月に地元びわこで行われた第8回は予選を1位で通過しながらもV逸。さらに常滑は勝率6・12、優勝も昨年8月の一般戦1回のみと遠藤にしては物足りない数字で好相性とは言いがたい。このデータを払拭する活躍ができるかに注目だ。ファン投票の結果を見ると浜田

目移りするようなメンバーとなったが優勝候補は遠藤エミが有力だろう。昨年は史上初となる女子GI年間V2を達成し、4年連続5度目の最優秀女子レーサーのタイトルを獲得と充実した1年だった。

**女王・遠藤エミが大会初Vなるか
投票数1位の浜田亜理沙も気合が入る**

初のファン投票1位となった浜田亜理沙



亜理沙が2万60票の支持を集め1位に輝いた。23年にクイーンズクラimaxを制して以降は優勝回数を減らしているが、旋回力は遠藤とも肩を並べる実力の持ち主。票を投じてくれたファンのためにも、結果で恩返しをしたい。今期の勝率を見ると三浦永理がメンバートップの7・58(4月22日現在)、また平高奈菜も7・32と高勝率をマークしているが、ともに先月の常滑オールレディース準優でFを切ってしまったのは痛い。この大きな足かせをつけてどこまで勝負できるかが課題となる。一方で實森美祐は今年混合GIで優出など地力をさらにつけている印象で、準優勝で終わった前回大会以上の結果を目指したいところ。渡邊優美はF休みの関係で

IN BOATRACE TOKONAME LADIES ALL STARS

表1 第10回レディースオールスター出場選手 選出順位表

順位	登番	選手名	支部	出身地	得票数
QC 優出	4502	遠藤 エミ	滋賀	滋賀	18,008
	4590	渡邊 優美	福岡	福岡	13,256
	4387	平山 智加	香川	香川	10,981
	4208	三浦 永理	静岡	静岡	6,032
	4123	細川 裕子	愛知	愛知	3,313
	3618	海野 ゆかり	広島	広島	3,048
7	4546	浜田 亜理沙	埼玉	広島	20,060
8	4961	西橋 奈未	福井	石川	19,217
9	4963	實森 美祐	広島	広島	14,899
10	5174	川井 萌	静岡	静岡	14,840
11	4450	平高 奈菜	香川	愛媛	11,471
12	4190	長嶋 万記	静岡	静岡	10,551
13	4804	高田 ひかる	三重	三重	9,781
14	5193	米丸 乃絵	福岡	熊本	9,141
15	5163	清水 愛海	山口	山口	8,717
16	5203	神里 琴音	福岡	沖縄	8,162
17	5146	野田 彩加	山口	山口	7,793
18	4884	勝浦 真帆	岡山	岡山	7,783
19	4456	鎌倉 涼	大阪	大阪	6,815
欠場	3188	日高 逸子	福岡	宮崎	6,781
21	5205	刑部 亜里紗	静岡	静岡	6,338
22	5088	高嶋 四季	大阪	大阪	6,102
23	5281	井上 遥妃	徳島	徳島	5,649
24	4347	魚谷 香織	福岡	山口	4,837
25	4183	宇野 弥生	愛知	埼玉	4,370
欠場	4399	松本 晶恵	群馬	群馬	4,140
27	3435	寺田 千恵	岡山	福岡	4,089
28	4611	今井 美亜	福井	富山	3,907
29	4878	西岡 育未	徳島	徳島	3,871
30	4843	深尾 巴恵	静岡	群馬	3,734
31	4758	富樫 麗加	東京	東京	3,613
32	4845	前田 紗希	埼玉	埼玉	3,591
33	4938	小芦 り華	佐賀	佐賀	3,548
34	5045	平川 香織	埼玉	東京	3,545
35	5188	武井 莉里佳	兵庫	兵庫	3,442
36	4433	川野 芽唯	福岡	福岡	3,430
37	5241	門田 栞	香川	愛媛	3,393
38	4011	堀之内 紀代子	岡山	岡山	3,270
39	4447	深川 麻奈美	福岡	熊本	3,152
40	5218	山田 理央	香川	愛媛	3,006
41	5129	山口 真喜子	長崎	長崎	2,955
42	4927	関野 文	大阪	大阪	2,802
43	3232	山川 美由紀	香川	香川	2,744
44	4045	佐々木 裕美	山口	山口	2,712
45	5264	登 みひ果	兵庫	兵庫	2,679
46	3611	岩崎 芳美	徳島	熊本	2,630
47	4714	喜多須 杏奈	徳島	徳島	2,475
48	3999	大瀧 明日香	愛知	静岡	2,462
49	4900	中田 夕貴	埼玉	埼玉	2,423
推薦委員会	4746	大豆 生田蒼	埼玉	栃木	2,254
	4519	清水 沙樹	東京	千葉	2,166
	3302	谷川 里江	愛知	愛知	2,118
繰り上がり	5013	山下 夏鈴	三重	三重	—
繰り上がり	4984	森下 愛梨	静岡	静岡	—

若手の活躍も見どころ

若手レーサーにとってLASはもっとも身近な大舞台のひとつだ。思い切ったレースをする選手がとて多く、それが高配当券へとつながる。今年は登番5千番台の選手が過去最多の15人出場。SQMで優出し、次節にはSGオールスターもひかえる川井萌や混合戦でもまれて地力を鍛えあげた高嶋四季は上位争いを演じそう。スタート事故の多さは気になる。

が、清水愛海や米丸乃絵も素質は一級品。この1年近くでメキメキと頭角を現しはじめた山口真喜子や山田理央、門田栞の香川コンビからも目が離せない。地元愛知支部からは4人のみ出場だが、文字通り「少数精鋭」の実力者がそろった。昨年賞金ベスト12に入った細川裕子と宇野弥生はやはり有力候補で、細川は23、24の当地オールレディースを予選1位からの王道Vで連覇達成。一方の宇野は近況やや調子を落としているもののそれでも2月の下関で優勝するなど地力を見せている。大瀧は勝ち切れてはいないが今年混合戦を含む3優出と安定して結果を出せていることが強み。流れに乗るようならあっさり優勝しても不思議ではない。そして常滑といえば谷川里江。当地優勝はメジャー最多の4V。水面を知り尽くしたベテランが高配当の舟券をもたらすか。

今期勝率は出場選手中1位の三浦永理



2月のSQMを優勝した平高奈菜



今年はGIでも優出した實森美祐



大けがから復帰後に宮島周年で予選突破した西橋奈未



IN BOATRACE TOKONAME LADIES ALL STARS

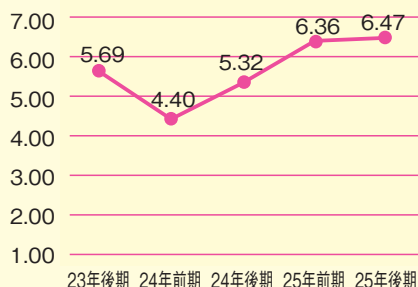
注目若手 レーサー6人



5163

清水愛海

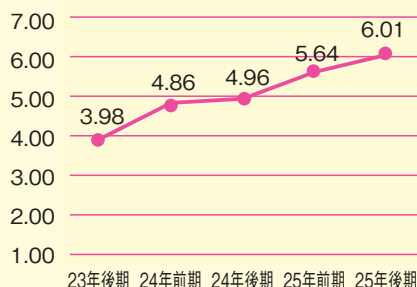
昨年12月に地元下関で初優勝を決めA1級にも昇格。次節には初のSG出場もひかえる山口の星から目が離せない。



5129

山口真喜子

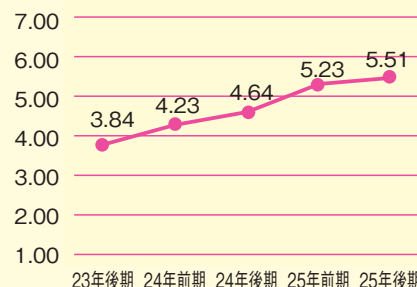
23年後期にF3を経験。そこからは旋回力を磨き上げA級に昇格した。2、3コースでの2着率は高め。で今回も狙ってみたい。



5188

武井莉里佳

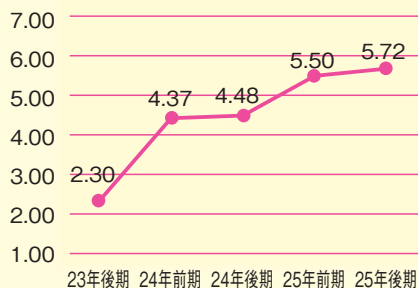
2月のスピードクイーンメモリアルでは3日目に逃げ切ってGI初勝利。豪快なまくりが持ち味で3コース戦に強い。



5218

山田理央

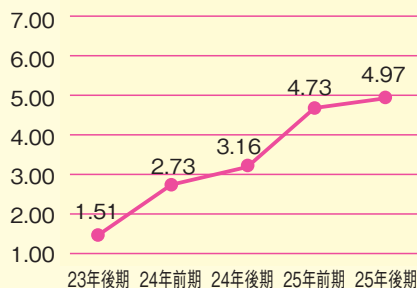
2月の四国地区選では田村隆信ら強豪男子レーサーを相手に勝利を収めた。今期のイン勝率は8点台後半と、とにかく手堅い。



5241

門田菜

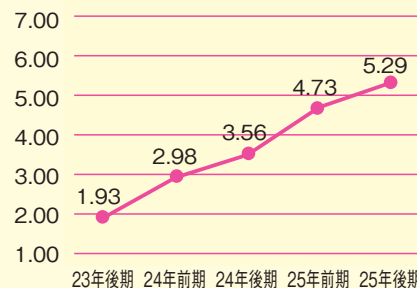
A級男子選手からも信頼されるほどペラ調整には定評がある。今期の勝率は伸び悩んでいるが意外性はかなり高く軽視禁物だ。



5281

井上遥妃

キュートなルックスと豪快なターンで成績もファンの数も急増中。オープニングセレモニーではコスプレ姿も話題に。



※25年後期は4月14日時点

表2 レディースオールスター歴代優勝戦成績

回	開催場	優勝	2着	3着	決まり手	3連単	配当	人気	ファン投票1位選手
1	宮島	山川美由紀	海野ゆかり	松本 晶恵	逃げ	①③②	900円	2	遠藤エミ➡予選敗退
2	びわこ	中村 桃佳	藤崎小百合	山川美由紀	逃げ	①③②	2160円	9	遠藤エミ➡準優F
3	児島	寺田 千恵	田口 節子	遠藤 エミ	逃げ	①⑤④	3730円	13	大山千広➡準優4着
4	鳴門	岩崎 芳美	喜多須杏奈	長嶋 万記	差し	②⑤③	2万1150円	49	大山千広➡準優4着
5	芦屋	小野 生奈	遠藤 エミ	竹井 奈美	逃げ	①②③	870円	2	大山千広➡予選敗退
6	桐生	守屋 美穂	松尾 夏海	田口 節子	まくり	④⑥①	3万5130円	65	守屋美穂➡優勝
7	蒲郡	長嶋 万記	田口 節子	鎌倉 涼	逃げ	①③④	980円	1	守屋美穂➡準優4着
8	びわこ	渡邊 優美	宇野 弥生	守屋 美穂	逃げ	①②⑥	2670円	11	守屋美穂➡優勝戦③
9	宮島	守屋 美穂	實森 美祐	長嶋 万記	逃げ	①④③	1800円	8	守屋美穂➡優勝

地元番記者が厳選 常滑の注目エンジンを丸裸に!!

2連対率は25年4月15日時点のもの

27 号機	評価 A	53 号機	評価 A	6 号機	評価 A	51 号機	評価 S	61 号機	評価 S
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
31.8%	↑	38.3%	↑	39.2%	→	46.2%	↑	52.2%	→
周年で地元の北野輝季が好戦。ルーキーシリーズでは登玉隼百がF後も伸び仕様で破壊力ある足に仕上げた。		地元の宇佐見淳・前田滉が優出の近況。特に前田のスリット足は素晴らしい。上昇度言えば一番かも。		行き足・伸びは常に上位の動きを見せる。その分、レース足には課題があるが、それをカバーできる直線系だ。		B B C Tが準V、周年がVと常滑主要レースで結果を残した。出足・伸びとどちらにも振れる万能モーター。		佐藤悠がチルト2で仕上げて異次元の伸びに。長らく2度を使われたが、松竹大輔・三浦永理は0でも快速に。	

41 号機	評価 B	56 号機	評価 B	34 号機	評価 B	15 号機	評価 B	11 号機	評価 A
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
34.8%	↗	39.2%	↗	50.0%	↓	48.9%	↗	37.6%	→
オールレディースで安達美帆が優出。準優ではピット離れで飛んだし、道中細川裕子を振り切った出足は本物。		乗り手に恵まれないモーターだが、出足・行き足といつも水準以上の気配。潜在能力は高いかもしれない。		かつてはエース機と言ってもいい伸びだったが、野口勝弘がペラを手前に寄せてからは中堅レベルで推移して…。		出足中心に数字通りのいい動きだったが、最近はどうもその気配がない。それでも松瀬弘美は行き足良く優出。		伸び型で仕上がった時は本当に破壊力がある。周年の関浩哉はそこまでも、近2節は上位クラスの伸びだ。	



昨年の11月19日から使われ始めた現行モーター。現況、ナンバー1モーターは61号機で間違いないだろう。チルト2度で異次元の伸びに仕上がりが、その後もノーハンマーで快速を続けた。だが、チルトを跳ねる前に重野哲之がトップ級に仕上げていりし、チルトを上げ下げした松竹大輔が完全V。ペラを片面叩いて0度で通した三浦永理は準優でFに散ったが、伸びは誰の目にも節イチだった。今や伸び一辺倒ではなく、トップ級の伸びに乗り心地まで備わっている。

61号機と双壁の評価は言い過ぎだが、51号機はSクラスにふさわしい実績だ。白井英治が強伸びでB B C Tを準優勝。その後は秋山直之が一般戦でオール3連対V、機部誠が周年を制している。伸びのイメージが強い51号機だが、オールレディースの山口真喜子が出足型で仕上げたことで万能機を証明。秘めた能力は相当だろう。

S評価とはやや開きがあるA評価のモーター。それでも6号機は半年間、常に上位の行き足を見せてきた。上昇度言えば53号機と27号機。伸びに寄せたことで破壊力がアップした。11号機も調整が合えば伸び気配になる。B評価のモーターは出たり、出なかったりとムラがある印象だ。

常滑はA級優遇番組が多いため、乗り手がいいとそれだけでモーターの勝率が上がってしまう。2・18・22号機がそのいい例で、額面通りに受け取ると危険かも。2割引きぐらいで見ておいた方がいいだろう。

(とこなめ情報 土井)

61号機が常滑の看板モーター!! 数字と機力が乖離する機に注意